

## 【取組内容④】・教員がいつでも学び、授業実践に対して意見共有できるための工夫

先生の授業をみて  
Google ドキュメント

クラスコメントを追加...

さんが新しい課題を投稿しました: 第2章1節③ 巨大な人口が支え  
9月22日

9月21日  
7月11日（火）に: 先生の授業を参観させていただきました。

授業のよさをみなさんと共...  
Google ドキュメント

先生の授業

授業の導入がとても参考になりましたので、共有させていただきます。  
「社会権」についての授業でした。



授業開始、黒板に「社会権」と書き、生徒に「社会権が初めて出てきたのはいつか？」との質問。歴史の復習もかねて、近くの生徒と数秒確認し合う。その間10秒くらいでしょうか。  
タイムアップ後、教室内をぐるりと回りながら1人の生徒を指名して答えてもらい、みんなで正解を確認。正解を答えた生徒に、みんなで拍手。

テンポよく次の質問。  
「社会権とは何？」  
これも数秒、近くの生徒と確認し合う。先ほどの質問と同じように、教室内をぐるりと巡って1人の生徒を指名して答えてもらい、その後みんなで正解を確認し、答えた生徒に拍手。ここまで3分。

先生の授業技術の分析

- ①復習はテンポよく。「簡単」→「普通」と、「ほとんど全員が答えられる内容。
- ②教室内を移動しながら生徒の視線を集め、全員の意識を授業に向かわせる。
- ③指示は短く、余計な説明はしない。



教室内を移動する 先生を見る生徒たちのドキドキワクワクな視線。授業に集中できていない生徒に「自分が指名されるかも」というドキドキ感を与えつつ、誰が指名されるんだろうと先生を見つめるうちに、自然に授業に参加!

研究授業だけでなく、普段の授業を参観し合うことを通して、TPCの効果的な使い方や生徒の主体的な学びを実現するためのアイデアを学べるように取り組んでいる。それとともに、参観した授業について、様子が分かる写真と簡単な授業の流れ、参考となった事柄をドキュメントに簡単にまとめ、現職教育のクラスルームに投稿するようにしている。アップされたレポートは、教員がいつでも誰でも、様々な先生の実践を知ることができるため、これらを参考にしながら自分の実践に生かす姿が見られる。

また、授業だけでなく、研修会でもらった資料や今後の研究に関わるような動画も投稿し合い、学んだことを全教員で共有できるよう工夫している。